

# 自己決定と幸福感

神戸大学特命教授  
西村和雄

- 1.何故自己決定か：自己紹介をかねて
- 2.自己決定にはルールがある：基本的モラル
- 3.子育ての方法とこどもの将来：自立を促す子育て
- 4.自己決定と幸福感

## 1.何故自己決定か:

専門は数理経済学・複雑系経済学

1976-1987 東京都立大学助教授

1987-2010 京都大学教授

2013- 神戸大学特命教授

1978. 家庭内暴力がニュースとなる

1980. 校内暴力が ニュースとなる

1982. いじめがニュースとなる

1985. いじめの深刻化

## 1999『分数ができない大学生』の出版



2005第1回日本数学会出版賞受賞

## 理数教育に関する調査

「大学生の数学力」1998

「数学学習と所得」2001

「理系と文系の所得比較」2011

「理科学習科目と労働市場の評価」2012

「一般入試とAO入試の労働市場の評価」2013

「学習指導要領と失われた日本の研究開発力」2017

## 人材育成に関する調査

「基本的モラルと社会的成功」2014

「子育ての方法と労働市場の評価」2015

「幸福感と自己決定」2018

子供の時に親から言われてよく記憶している規範を尋ね、

学歴、所得

倫理的判断

について調査した

やらなければいけない2つと、やってはいけない2つ

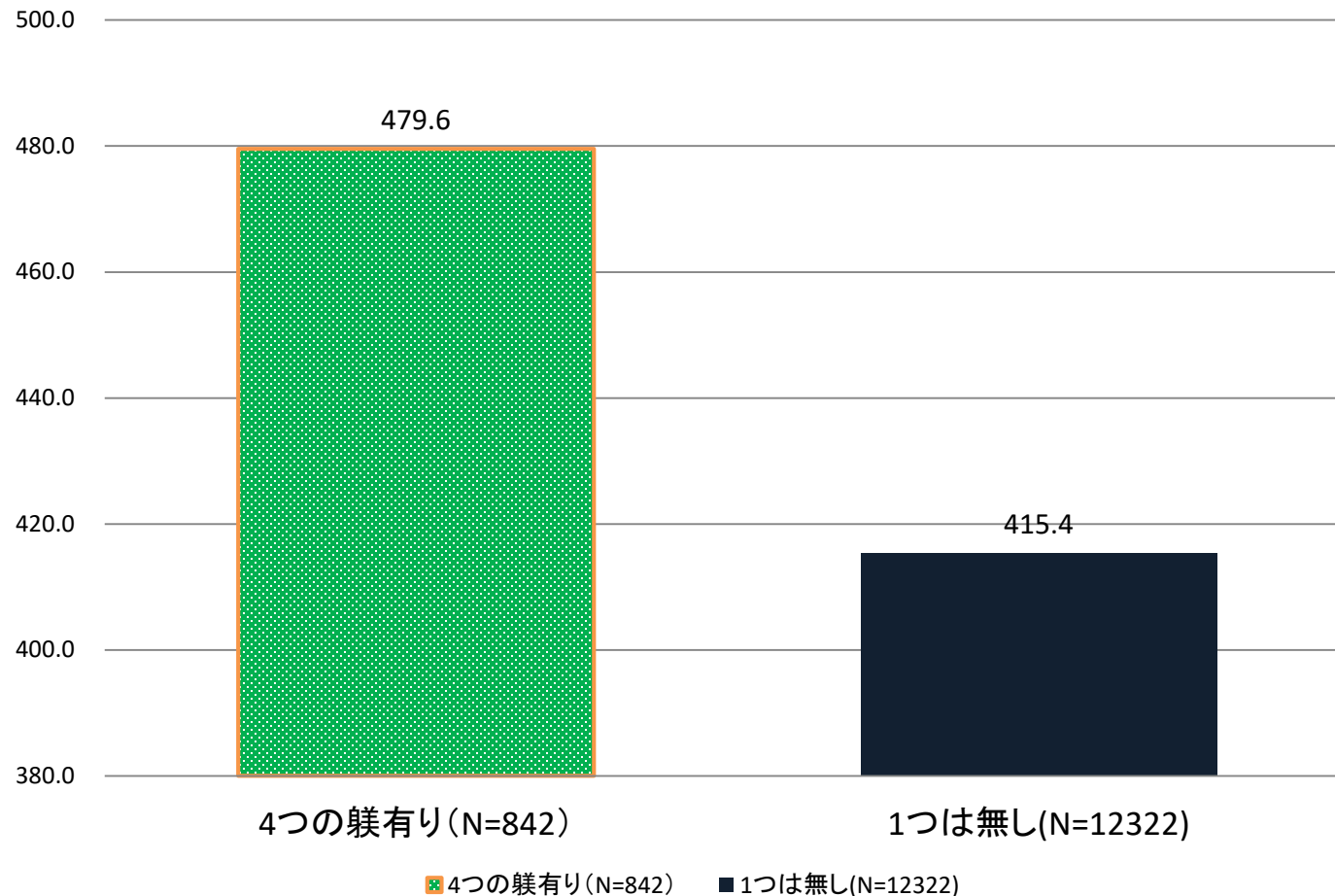
人に親切にする……他人に

嘘をつかない……他人に

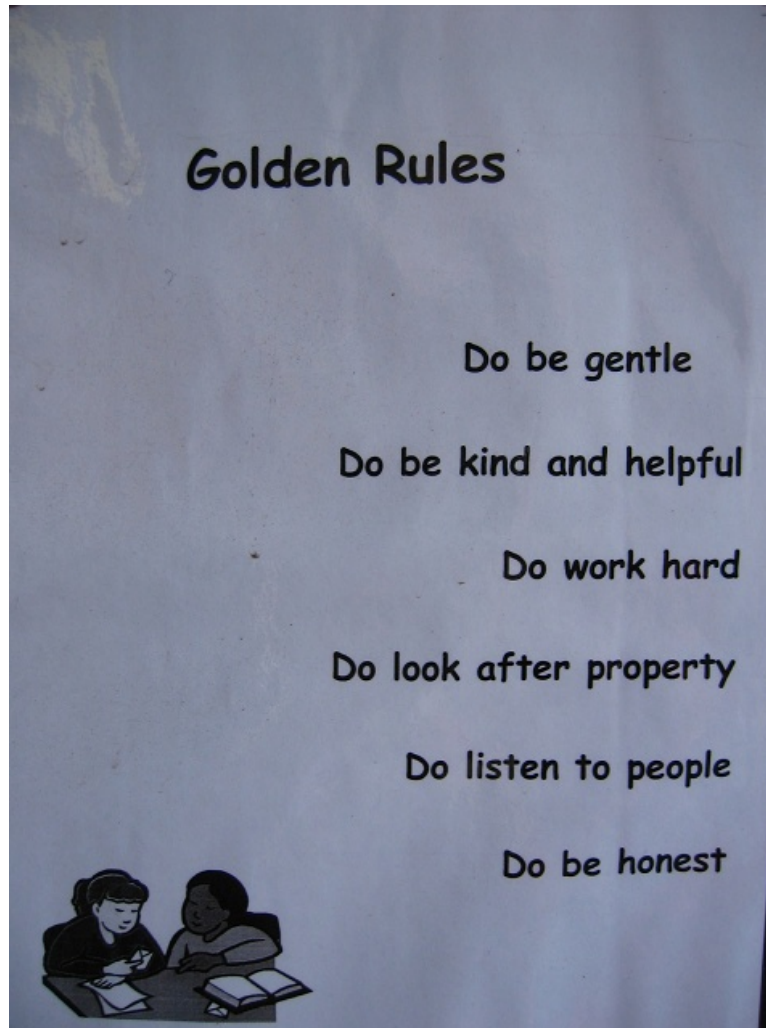
法を犯さない……自分

勉強をする……自分





4つの躰(うそをつかない、他人に親切にする、ルールを守る、勉強をする)をすべて受けた者と、1つでも欠けているものの平均所得比較



優しくなさい

親切にして、助けなさい

一生懸命働きなさい

持ち物を大切になさい

人の話を聞きなさい

正直になさい

### 3.子育ての方法とこどもの将来:自立を促す子育て

- 日本人の子育ての方法が子どもにどのような影響を与えるかを明らかにする。

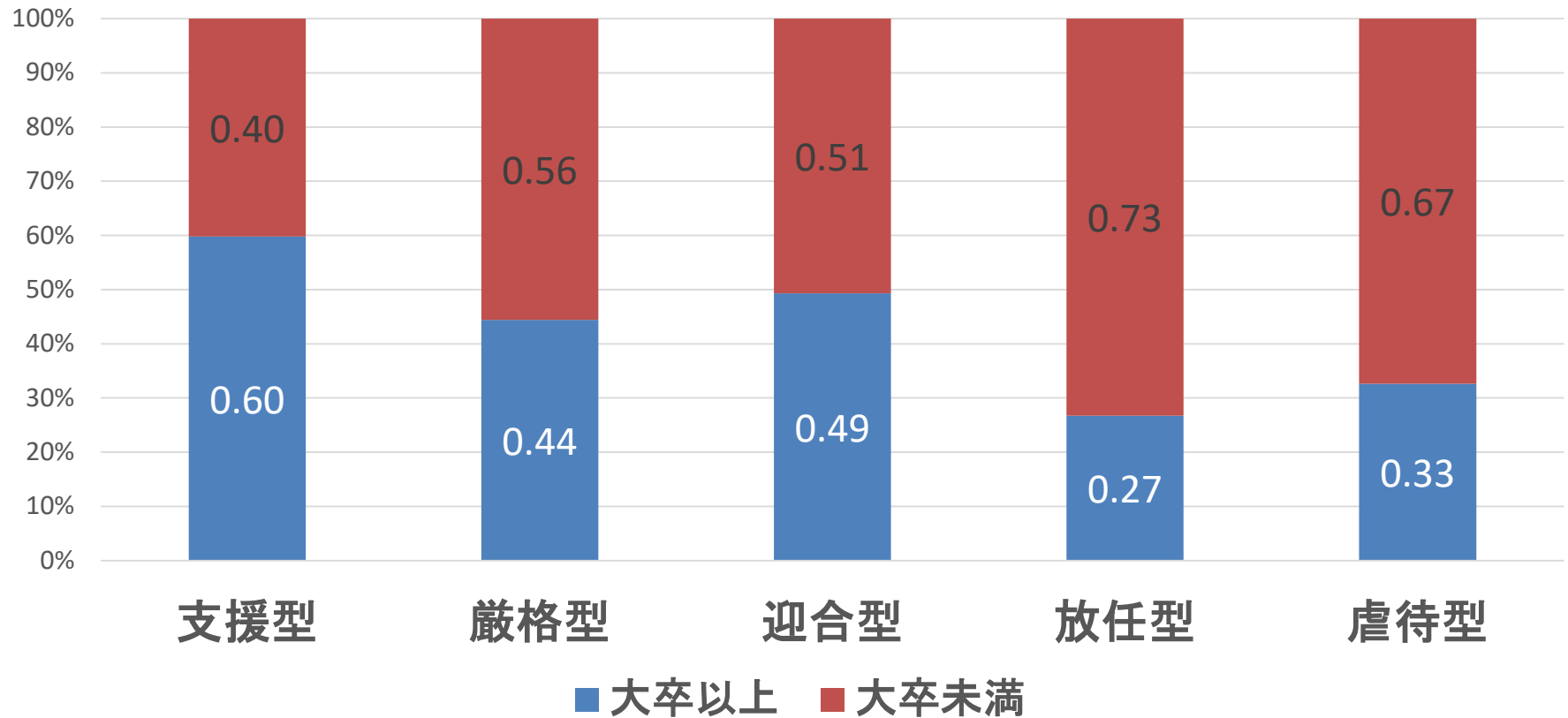
就業後の所得

幸福感(前向き思考、安心感)

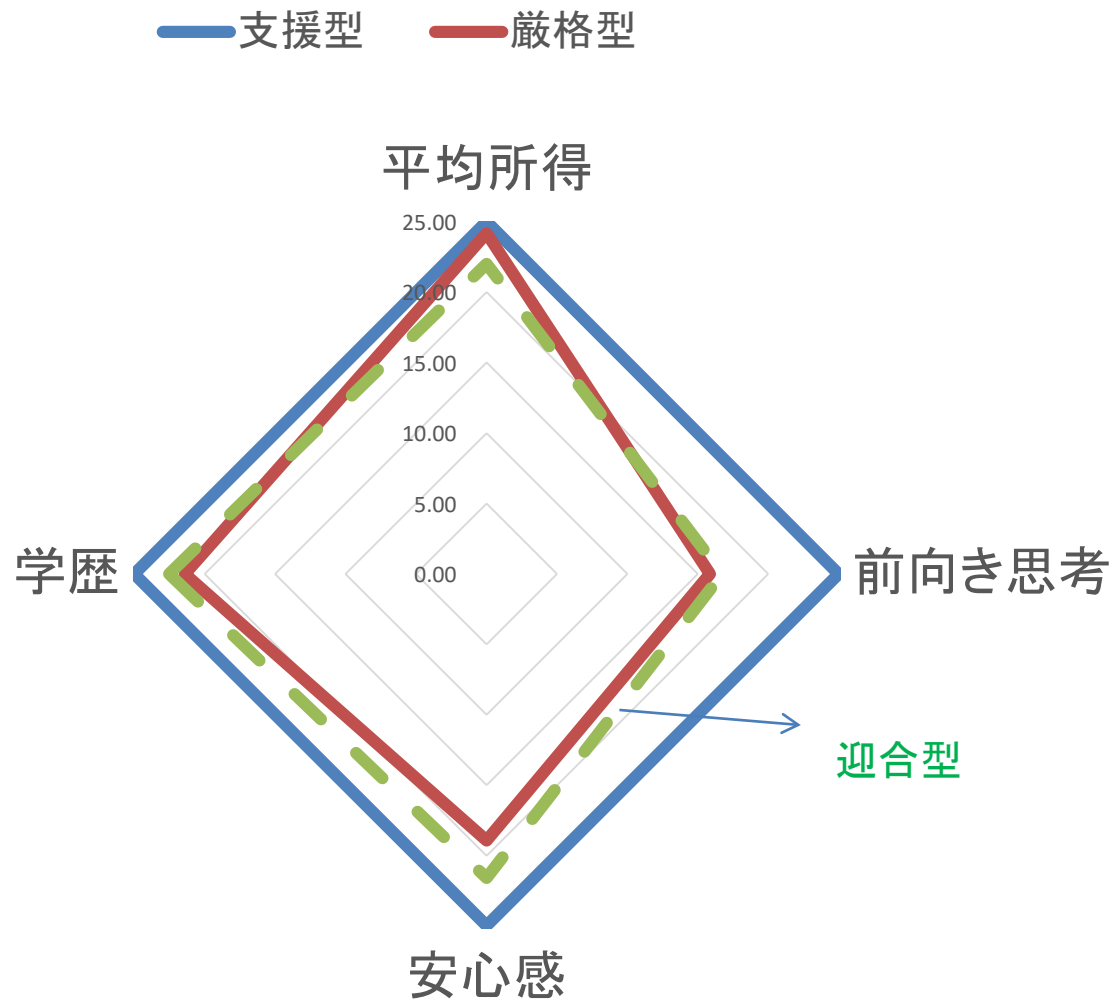
学歴

# 子育てタイプ

- 1) **支援型**: 高自立、中自立、高信頼、高関心、高共有時間
- 2) **厳格型**(タイガー): 低自立、中・高信頼、厳しい・やや厳しい、中・高関心、高規範
- 3) **迎合型**: 高信頼、中信頼、全く厳しくない、高共有時間、中共有時間
- 4) **放任型**: 低関心、全く厳しくない、低共有時間、低規範
- 5) **虐待型**: 低関心、低自立、低信頼、厳しい



# 子育てタイプ(支援・厳格・迎合)と達成度バランス



## 4. 自己決定と幸福感

Happiness, Well-being

お金？

学歴？

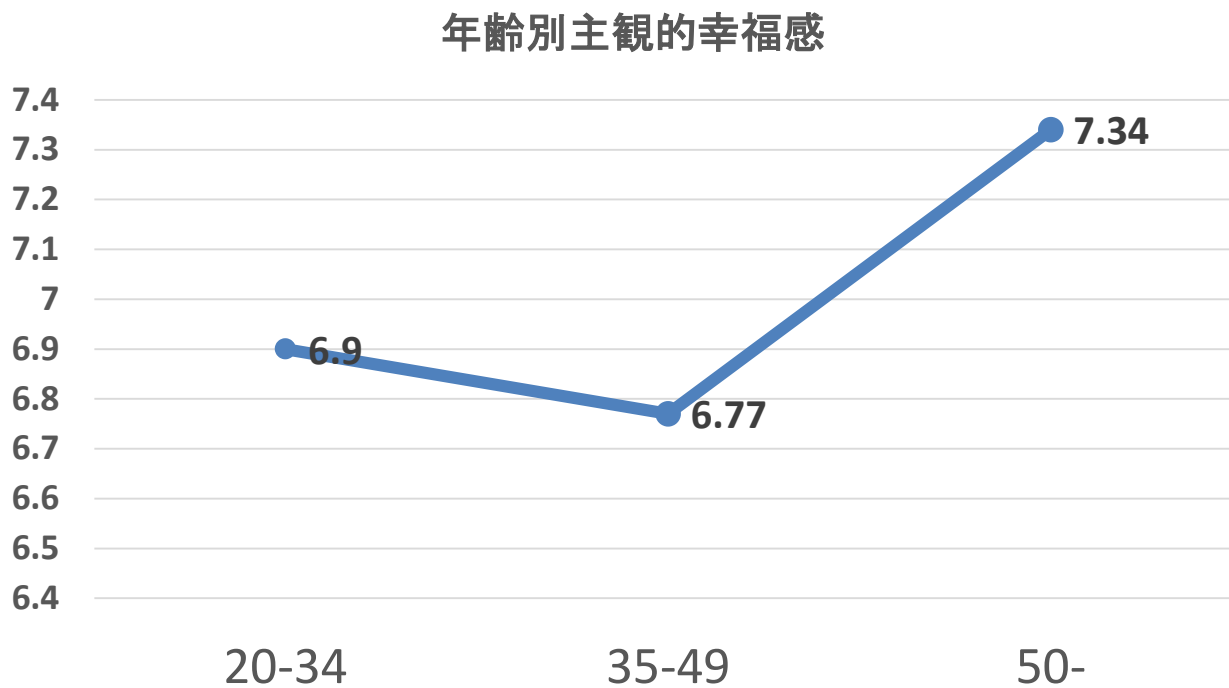
**イースタリン** 1974 (南カリフォルニア大学)

「実証分析結果において、所得水準と  
幸福度の値が相関していない」

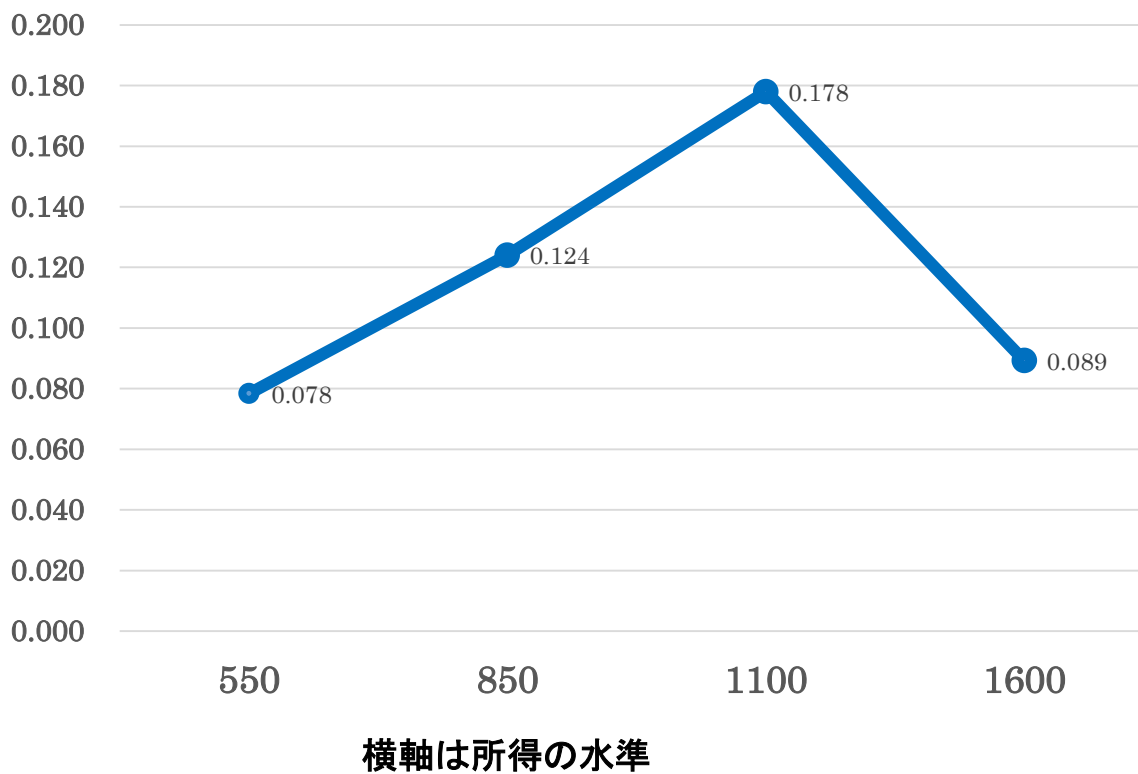
- 国連による世界幸福度報告書 2012—  
2020年の幸福度のランキング  
1位はフィンランド、日本は62位。

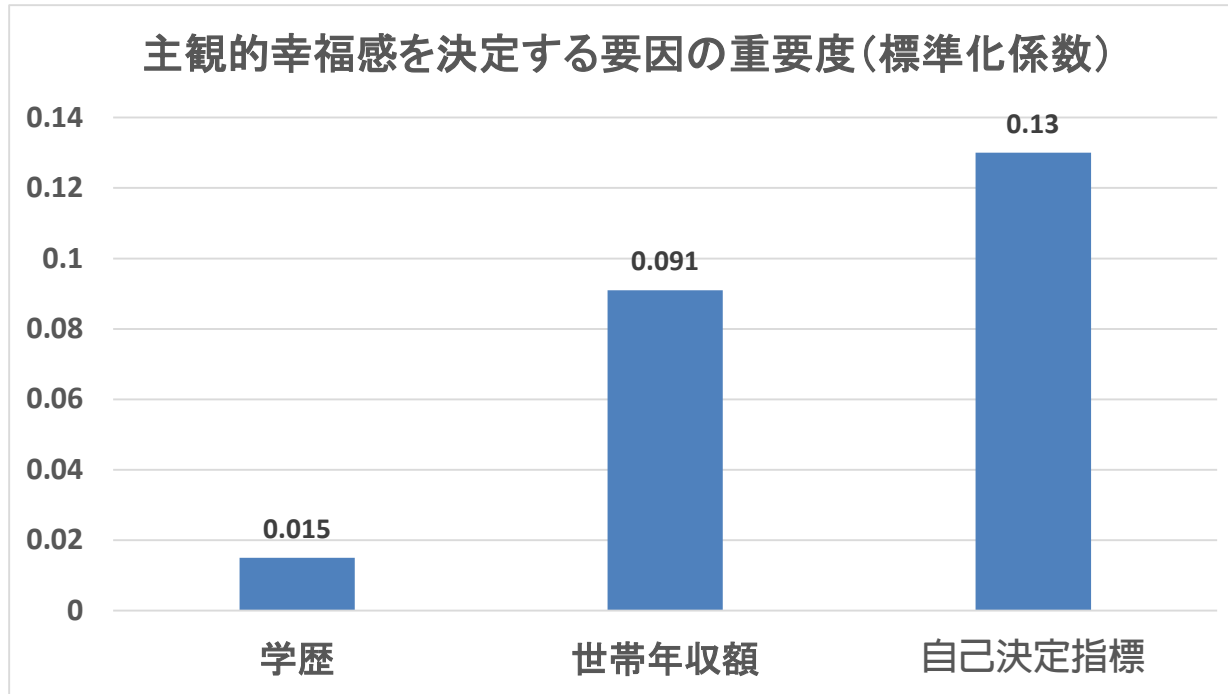
国連による世界幸福度報告書などは主観的幸福感を用いている





縦軸は幸福感の増加率の所得の増加率に対する比(所得弾力性)





注:学歴は説明変数として統計的に有意ではない。